



社員教育が生き残りの鍵

自社に合った教育体系設計の 考え方と運用法セミナー

半日セミナー

★
セミナーのねらい

労働力人口の減少等、事業環境が大きく変化していく中、“選ばれる・生き残る会社”でいるためには、社員教育が必要不可欠です。世の中がどんどん変化する中で、社員に求められるスキルは当然、変わってきます。

ー 研修担当者からは、以下のような声をよく聞きます。

- 内容が単発的・散発的で、テーマによっては、「全く受講しない人」や「何度も受講する人」がいたりする。
- 内容が特定領域に偏重しがちで、本来、教育すべきことが漏れてしまう。
- 研修と会社の人事考課（能力評価、コンピテンシー）との整合性がとれていない。
- 社員の中で、「自分で勉強する!」という自己啓発の意欲が弱くなっている。

研修の受講成果を上げるには、企業側も“経営理念の実現に向けた教育体系を構築”する必要があります。人材育成になかなか手が回らないという経営者は多いですが、「人材育成」は投資であり、設備投資等と同じです。いくら、お金が無いからといって、全く投資を行わなければ、会社の成長は期待できないでしょう。

本セミナーでは、自社にマッチした設計・運用のポイントとは何か、事例を用いながら解説していきます。また、ワークシートを用いて、実際に自社の教育体系を組み立て直しながら、設計・運用の重要ポイントを実践的に学んでいただけます。

開催日時

2022年10月14日(金) 13:30～16:30 (接続開始 12:45)

会場

各受講企業またはご自宅にて (Web ミーティングシステム「Zoom」を使用)

*北陸経済研究所セミナールームでも視聴可能です。ご希望の方はお申し出ください。

対象

経営者・経営幹部、人材育成・社員教育担当者の方

定員

オンライン：40名



セミナー内容

【1】なぜ、いま社員教育が注目されているのか

- ▶ 社員教育の重要性と問題点
- ▶ 就職・転職についての意識調査から見えてくるものとは?
- ▶ ポスト・コロナ時代における学び方の変化

【2】教育体系再構築の進め方

ステップ1：会社の方針や戦略を確認する

- ▶ 「どのような人材を育成するのか」の前提として、会社の方針や戦略を確認します。

ステップ2：各職種／階層別の使命・役割の明確化

- ▶ 会社の方針／戦略を実現するための「あるべき人材像」を描きます。

ステップ3：身につけるべきスキルを定義する

- ▶ 「あるべき人材像」に到達するために必要なスキルを体系的に洗い出します。
- ▶ また、各スキルについての具体的な内容と求める水準を定義します。

ステップ4：スキルの身につけ方の決定

- ▶ 各スキルについて、どのような方法で身につけるべきかを決定します。

(例) OJT、社内研修、外部研修、自己啓発等

ステップ5：教育プログラムの作成

- ▶ 「いつ」「誰に」「誰が」「何を」「どのように」教育するかを決定します。

テクニカルスキル・・・自身の業務遂行能力
 コンセプチュアルスキル・・・物事の本質を把握する能力
 ヒューマンスキル・・・周りに信頼される能力

受講者の声

- ・教育制度の立て方のイメージができました。知りたい情報が得られてよかったです。スキルの内容が具体的で助かりました。
- ・人材育成のカリキュラムを会社方針や年度戦略等も踏まえてブラッシュアップすることが大事。
- ・中堅職員、できると思っている職員からの研修に対する拒否反応は一定数ある。研修受講前に本人に上司から気づき、動機付けをしてあげることが大切。研修はあくまでもきっかけであり、研修を受講するだけでスキルが上がるわけではない。直属の上司が主体となって、人材育成を行うことが大切であると理解した。

講師

有限会社サンクスマインドコンサルティング 伊藤 弘一 氏

代表取締役



1987年 中央大学法学部卒業。岩谷産業(株)入社。1990年戦略系コンサルティング会社の矢矧コンサル
タント(株)に入社し、企業戦略や事業戦略などの多数のプロジェクトに従事。1995年業務系コンサルティ
ング会社のケイアンドカンパニー(株)に入社し、企業変革などの多数のプロジェクトにマネジャーとして
従事。1999年アネスト岩田株式会社(東証1部上場)入社、社長直轄の営業統括(GM)として従事。現
在は有限会社サンクスマインドコンサルティング代表取締役社長としてコンサルティングのかたわら、
メーカー、商社、IT、通信、外食等、幅広い業界において、営業、プレゼンテーションに関する研修など
で活躍中。これまでの経験を活かした、理論だけでなく、実践的な内容が、好評を得ている。
著書に『商談・接客・人間関係が驚くほどうまくいく話し方133例』(経林書房)がある。

■参加申込方法(①②③のいずれか、あるいは右QRコードよりお申込み下さい)

※お申込みはなるべくWebでお願いいたします。

- ①北陸経済研究所 HP の「セミナー・講演会」⇒各セミナー⇒「Webでのお申込み」
- ②以下の「北経研セミナー参加申込書」に記入の上、FAX
- ③E-mail : haginaka@hokukei.or.jp に必要事項を記入の上、メール

お申込みフォームへ



■参加費(税込)

会員 1名 15,400円

非会員 1名 35,200円 ※賛助会員にお申込みいただければ、会員価格でご受講いただけます。

●2名以上参加される場合は10%の割引料金になります。

■お申込みにあたって(必ずお読みください)

- ①請求書や受講証、オンライン受講者様へのご案内(接続URL)はE-mailにてお送りいたします。ご連絡担当者様および
オンライン受講者様のE-mailアドレスは必ずご記入いただきますようお願いいたします。
- ②キャンセルのお申し出は5営業日前までをお願いいたします。以降のキャンセルはご返金いたしかねますので、予め
ご了承ください。ただし、当研究所主催の別セミナーへの振替受講のお申し込みをお受けいたします。
- ③オンライン受講の際は、カメラは常時オンをお願いします。テキスト等の資料はメールで送る場合がございますので、
事前に印刷してお手元にご用意いただきますようお願いいたします。
- ④セミナー中、録画再配信にレコーディングをしております。場面によっては、受講者が映る場合がございますので、
ご了承ください。
- ⑤お申込みが最低開催人数に満たない場合は、中止させていただきます。あらかじめご了承ください。

(2022-039)北経研セミナー参加申込書 (10月24日 Web)

年 月 日

一般財団法人北陸経済研究所宛て

F A X : 076-433-1164

【お問合せ】 TEL 076-433-1134 担当 萩中
富山県富山市丸の内1丁目8-10
E-mail: haginaka@hokukei.or.jp

| | | | | |
|----------------------------------------------------|--------|-----|--------|----------------------------------------|
| 貴社名 | | | | |
| 電話番号 | | FAX | | |
| 所在地 | 〒 | — | 市町 | 村 |
| ご連絡担当者 ご連絡担当者様の E-mailアドレスのご記入 をお願いいたします。 | お名前 | | | |
| | 所属 | | | |
| | E-mail | | | |
| 【 10月14日(金) Web 】 参 加 者 | | | | |
| お名前 | 所属 | 役職名 | E-mail | ※URL・パスワードをお知らせ します。必ずご記入ください。 受講場所 |
| | | | | Web |
| | | | | Web |
| | | | | Web |